

三井のリフォーム住生活研究所長 西田 恭子

三井グループの「横浜三港会」

年末年始は、なぜこんなにあわただしいのだろうか。

会社の年度末は三月なのだが、師走の声を聞くことをわしだし、日ごろは忘れていた友人・知人の顔が浮かび、連絡を取り夜が埋まる。会社関係の忘年会、新年会と重なり、非日常の暴飲暴食の毎日となる。

仕事の忙しい時期には、夜な夜な仕事を一気呵成でこなす夜型人間には、体力勝負の年末年始だが、お声が掛かるのはうれしいものだ。

昨年暮れに、神奈川県横浜を中心にした三井グループ企業の親睦のための組織「横浜三港会」の忘年会に出席させてもらった。

この会は、各社女性を連れ、どうやら私も女性の一角に入れていただけただようである。

日ごろは、三井不動産グループの方とお話しをする機会が多い。しかし、この会に出席したことで、もっと大きなくりの三井系企業の方々とお話しさせていただくことができ、たいへん有意義な時を過ごすこと

ができた。

新日本空調、セントラル警備保障の方など、一般には三井系であることがあまり意識されていない会社の方々と、楽しくお話しさせてもらった。また銀行系では、三井住友銀行、中央三井信託銀行、そして建築関係では、三井住友建設の方々と、わいわい談笑して過ごさせてもらった。

今回は、当社と他社の数社が、アピールスピーチ時間を二〇分与えられていた。私が連れて行かれたのもここにポイントがあるらしいのだが、ふだんのスピーチと違い八〇人ほどの立食の中で、しかも宴たけなわの途中で話すのはなかなか難しい。こちらもほろ酔い、あちらもほろ酔いの中で、当社は何を話せばいいのだろうか？ サッポロビールの方は、新商品をプレゼントしてくださると言っていた。差し上げるものは何もないリフォーム業界である。三井のリフォーム住生活研究所の紹介はさせていただいたものの、今日、出席させていただいたことのお礼と、お願いをすることにした。

三井グループの会であっても、三井系と住友系が合体した会社の方が多いことに気づいたのだ。日ごろ、リフォームでは他社との戦いを繰り広げている。もちろん住友のリフォーム会社とも競合することがあり、大いに意識している。

「当社の老舗としての良さと先進的なデザインを買っていたら、今日の日は記念して是非リフォームは住友ではなく三井のリフォームで！」とお願いした。

若干微妙な話題ではあったが、酒宴の席でのこともあり、皆さま笑いながら暖かく聞いてくださった。

その後、ぬいぐるみを着た名司会者のもとでビンゴをしたり、忘年会というよりパーティーのような盛り上がりで会は進み、私もいろいろな方に声を掛けていただいた。

「三友新聞、読んでますよ！」と、この新聞の連載を読んでくださっている方が多くいて、それが何よりもうれしかった。まさに、ここに来てはいる会社の方々

が読者だったのだ。手綱を締め直して、さあまた一年が始まる。



西田恭子氏のプロフィール「一級建築士。「三井のリフォーム」で設計を手かけ二五年。暮らしの創造に貢献する「三井のリフォーム住生活研究所」の所長に就任。新聞・雑誌・書籍の執筆、各種セミナーで講演を行う。文化女子大学非常勤講師。日本女子大学住居学科卒。